

小山くにひこさんを応援します！



府中市長
高野 律雄

小山都議は2期8年間、力強く誠実に、責任感あふれる活動をしてこられました。また、人を大切に、不屈の信念で鋭く切り込む姿勢は多くの市民から信頼を得ていることまちがいありません。今後も郷土府中と都政のパイプ役としてさらに飛躍する逸材です。



平岡 美津子 浅間町在住

私が夫を亡くした時、小山さんは本当に親身になって相談にのってくれました。弱い人の気持ちを理解し、思いやることできる小山さんを応援します。



石川 友正 デフリンピック(ろう者のオリンピック)
バスケットボール元日本代表選手

健常者と障害者の壁をなくすために、全力を尽くす小山さんの行動力はすばらしいです。小山さんを応援しています。

私たち府中市議会も小山さんを推薦し、応援します！



府中市議会議員
手塚としひさ



府中市議会議員
むらさき啓二



府中市議会議員
稲津けんご



府中市議会議員
杉村康之



府中市議会議員
にしみや幸一



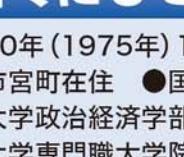
府中市議会議員
須山たかし



府中市議会議員
清水 勝



元府中市議会議員
村井 浩



前府中市議会議員
山上みのる

私たちも応援します！

小山くにひこを推薦する団体・組織(第1弾)

府中市議会市民フォーラム

(民進党・社民党・無所属による府中市議会会派)

東京都医師政治連盟 府中市支部

府中市薬剤師会

東京都社会保険労務士政治連盟

府中市管工事協会

東京都電気工事工業組合 調布地区本部 府中支部

府中社交飲食業組合

府中市酒販組合

東京小売酒販組合 府中支部

連合東京

連合三多摩ブロック地域協議会

自動車総連東京地方協議会

東芝労働組合 府中支部

日本電気労働組合 府中支部

府中市職員労働組合

多摩川競艇労働組合

京王自動車労働組合府中支部

ヤマト運輸労働組合西東京支部

東京都建設組合 府中支部

ぜひ皆様お誘いあわせの上、ご来場ください

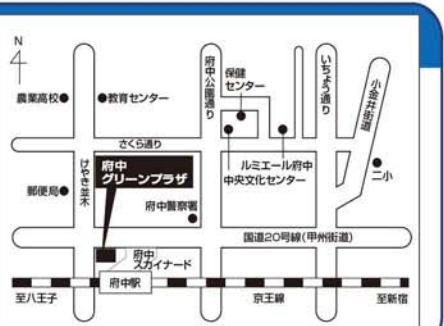
小山くにひこ 総決起集会

【日 時】2017年5月27日(土) / 16:30開場 / 17:00開会

【場 所】府中グリーンプラザ「けやきホール」

東京都府中市府中町1-1-1 TEL.042-360-3311

《来賓予定》小池百合子 東京都知事・高野律雄 府中市長



小山くにひこの政治活動をご支援してください

●ポスターの掲示 ●後援会入会および紹介 ●ご寄附のお願い

三菱東京UFJ銀行 府中支店 普通口座 1679591 / ゆうちょ銀行 10150-50093391 受取人 小山くにひこ後援会

ご連絡・お問い合わせ 小山くにひこ事務所

〒183-0023
東京都府中市宮町1-9-1 フェイスビル3階
TEL 042-335-2810
FAX 042-335-4550

メール kunihiro@koyama.be
都政報告 <http://www.koyama.be>
小山くにひこ 検索 / [facebook](#) [twitter](#) でも配信中！

都議会レポート あす あす 府中から東京の未来、日本の未来を創る

東京都議会議員(府中市選出)

こ や ま く に ひ こ

小山有彦



小山くにひこプロフィール

- 昭和50年(1975年)10月9日、千葉市生まれ
- 府中市宮町在住
- 明治大学政治経済学部政治学科卒業
- 明治大学専門職大学院ガバナンス研究科修了
- 明治大学都市ガバナンス研究所 客員研究員
- 学習塾の教室長として子どもたちの教育に携わる
- 2003年 府中市議会議員選挙 初当選
- 2007年 府中市議会議員選挙 再選
- 2009年 東京都議会議員選挙 初当選
- 2013年 東京都議会議員選挙 再選
- 東京改革議員団(民進・無所属会派)幹事長代理

地域での活動

- むさし府中商工会議所 顧問
- 府中市商店街連合会 顧問
- 東京行政書士政治連盟 顧問
- 府中市社交飲食業組合 顧問
- 府中市ゴルフ連盟 顧問
- NPO法人地域教育ネット 理事
- 大國魂神社例大祭五之宮 総代
- 第33回 多摩川清掃市民運動 副実行委員長
- 第27回 わんぱく相撲府中場所 実行委員長
- 日本少年野球連盟 武藏野府中ボーイズ 相談役

東京都での経歴

- 東京都青少年問題協議会 委員
- 東京都税制調査会 委員
- 東京都信用保証補助審査会 委員

都議会での経歴

- 総務委員会 副委員長
- 文教委員会 委員
- 厚生委員会 委員
- 各会計決算特別委員会 委員
- 公営企業会計決算特別委員会 委員
- オリンピック・パラリンピック等推進対策特別委員会 副委員長
- ラグビーワールドカップ特別対策委員会 委員
- 豊洲市場移転問題に関する調査特別委員会 委員

議員連盟での活動

- (東京都・東京都議会は省略)
- ラグビーワールドカップ2019日本大会成功議員連盟 役員
 - 防衛議員連盟 役員
 - 防災都市づくり推進議員連盟
 - 2020年オリンピック・パラリンピックを成功させる議員連盟
 - 地方税財政制度の改善を目指す議員連盟
 - 花粉症対策推進議員連盟
 - 男女共同参画社会推進議員連盟
 - 芸術文化振興議員連盟
 - 京浜港広域連携推進議員連盟

「すべての人が安心して笑顔で暮らせる社会をめざして」

私のめざす社会は、すべての人が幸せに暮らせる社会をつくることです。

困った人を助け、その悩みを解決することで、ひとりでも多くの人を幸せな暮らしに近づけたい。

そのつよいおもいがあります。

政治家の使命は「すべての人が安心して笑顔で暮らせる社会を実現する」ことに尽きます。私は身命をとして、府中市民、東京都民、日本国民の幸せのために全力を尽くしてまいります。

東京都議会議員
小山くにひこ



小山ぐにひこ 都議会活動報告



▲東京都議会で数々の政策提案



▲石原知事に予算委員会で質疑し提案



▲都議会総務委員会で条例改正を主導



▲東日本大震災後、気仙沼市長より要望を聞く



▲石巻市の避難所にて被災された方々を支援



▲2期目の当選!高野府中市長より花束を



▲猪瀬知事の政治資金問題を質疑



▲NHKや民放各社で全国報道される



▲舛添知事の公私混同問題を追及



▲大島町の土石流災害を視察し復旧支援



▲東京招致にご協力いただいた太田選手と



▲リオデジャネイロにて小池百合子知事と

小山ぐにひこ都議が百条委員会

「豊洲市場移転問題に関する調査特別委員会」で真相追究

百条委員会では、石原都政における無責任体制が明らかになりました。

石原元知事は、濱渕元副知事に東京ガスとの交渉を一任し、「報告を一旦受けていない」と証言しました。しかし、平成22年10月22日に「議会が決められないなら私が決める」と言って移転を決断したのは石原元知事であり、内容を十分精査せず、数千億円の事業を決断したことは、あまりにも無責任といわざるを得ません。

さらに、東京都が東京ガスに追加負担を求める根拠となる「確認書」を締結していましたことが明らかになりました。この「確認書」について、歴代市場長は異口同音に「知らない」と証言し、濱渕元副知事も「全く知らない。勝手なことをしてくれた」と証言しています。組織としてありえない無責任体制が、結果として瑕疵担保責任の放棄につながったのであれば、これこそ大問題です。まさに盛り土問題と同じく、いつ、だれが、何を決めたのかさえも分からぬガバナンスの欠如が、豊洲市場移転問題の本質であるといえます。



また、こうした「確認書」や交渉記録が、都庁内には存在せず、東京ガスへの要求資料で明らかになったことも問題です。

情報公開の推進には、いつ、だれが、どのように何を決め、何をしたのか、情報が記録として残されることが、極めて重要であり、このことを徹底することが必要です。

小山都議が提案し、小池知事が制定を検討している公文書管理条例について改めて早期に制定されるよう求めました。

さらに小山都議の証人尋問によって、当時の知事本局長の前川証人の証言から、濱渕元副知事の証言については偽証の疑いが濃厚であることが明らかとなりました。

引き続き、百条委員会において、豊洲市場移転問題の真相を解明してまいります。

なお今後の豊洲市場の移転問題については、百条委員会とは別に設置されています「豊洲市場移転問題特別委員会」にて審議し、安全・安心の市場をつくるために全力を尽くしてまいります。



小山ぐにひこの政策 人「府中発!東京大改革」



未来への -ひとづくり

- ◎教育分権・学校教育の充実(学校・地域・家庭の連携と教育力向上)
- ◎少子化対策(働き方改革の推進・男女共同参画社会)
- ◎子育て支援の充実(保育所待機児童の解消・多様な保育の整備)



未来への -まちづくり

- ◎高度防災都市の実現(災害に強い東京へ~地域防災計画の充実・改善)
- ◎スマートシティ東京(エネルギー自立分散型都市・再生可能エネルギー)
- ◎環境都市東京の再生(自然環境や都市農業の保全・循環型都市の構築)

未来への -こころづくり

- ◎高齢者福祉政策の充実(高齢者医療制度の改善・特養待機者の解消)
- ◎障害者への支援拡充(医療・介護サービスの充実および真の社会参加)
- ◎地域福祉・NPO活動等の推進(世代間交流と対話の促進および人材育成)



政策実現に むけて

- ◎権限・財源・人間の三ヶセットによる
- ◎予算のムダを省き、徹底した情報公開による
- ◎国から東京都・東京都から府中市へ

**地方分権の推進
東京都の経営改革
三多摩格差の解消**

小山くにひこ都議会議員と高野のりお府中市長



小山都議 2019年のラグビーワールドカップと、2020年のオリンピック・パラリンピックは、東京スタジアム(味の素スタジアム)とその隣に整備されている武蔵野の森総合スポーツプラザで開催されます。この2大会の開催を通じて東京はもちろんですが、府中の発展と振興につなげていきたいと考えています。

高野市長 私も2大会を通じて多くの方に訪れていたことが、府中市の発展や振興において、大事だと思っています。特に府中市としては、2019年のラグビーワールドカップにおいて、いずれかの国のキャンプ地に選ばれることによって、その契機をしたいと思っています。キャンプ地として選ばれるには、施設の整備が欠かせませんし、外国からたくさんの方がお見えになることも含めて、やはり東京都から財政的にも人的にも支援が必要となります。是非、小山都議には協力をお願いしたいと思います。

小山都議 もちろんです。しっかり取り組んでまいります。東京スタジアムでは、2019年のラグビーワールドカップで開会式、開幕戦が行われ、2020年のオリンピック・パラリンピックでは7人制ラグビーの競技が行われます。これを一体的にとらえていくことが必要ですね。

高野市長 そう思います。2大会を一つのつながりとして、府中市としても取り組んでいきたいと思います。多くの方が府中を訪れていただける絶好の機会となります。さきほどお話ししたラグビーワールドカップのキャンプ地誘致の成否は別にしても、世界のラグビーチームが、大会開催の数日前から府中に来て東芝かサントリーのグラウンドを借りて調整するという可能性もあるわけです。

小山都議 そうですね。東芝ブレイブルーパスやサントリーサンゴリアスという日本屈指のラグビーチームが府中を拠点にして活動されていますし、日本代表選手が府中市内に在住勤められています。高野市長がこれまで、ラグビータウンとして取り組まれてこられたことが、今回の2019年のラグビーワールドカップと2020年のオリンピック・パラリンピック開催で天の時を得て、府中の地の利、そして多くの人の和で大成功をおさめ、府中の発展・振興につながるようにしたいと考えています。キャンプ地誘致の実現のため、東京都としてもできる限りの支援をしていきたいと思います。

※味の素スタジアムの正式名称は東京スタジアムです。

2019年ラグビーワールドカップと2020年東京オリンピック・パラリンピックの成功にむけて

小山くにひこ都議は、ラグビーワールドカップ日本大会の開会式および開幕戦が、東京スタジアムで開催されることを受け、2019年のラグビーワールドカップ日本大会と2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の2大会を、一体的にとらえて準備を進めるべきと提案しました。この提案を受け東京都は「ボランティアや多言語対応など戦略的に大会準備を進め、2つの大会を一体のものとしてとらえて、必ず成功に導く」としました。またラグビーワールドカップのキャンプ地として、府中市が選定されるようワールドラグビーのラバセ会長に要望するとともに、東京都の支援も求めました。

また小山都議は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの競技会場や大会計画について、大会開催後の先を見据えた会場整備や計画となるよう求めました。特に競技会場の整備にあたっては、大会後に負の遺産とならないよう、後利用のビジネスモデルを確立した上で計画となるよう強く求めました。また、府中市で開催される予定の自転車競技のロードレースについては、府中市役所や大國魂神社、東京競馬場の前を通るルートへの変更を、東京都や大会組織委員会、競技連盟に提案し、東京都は「組織委員会と連携し、国内・国際競技団体と調整する」と答え、その実現にむけ取り組んでいくとしました。



『府中市政・東京都政の未来について』対談

小山都議

大会会場となる東京スタジアムや武蔵野の森総合スポーツプラザへ行く公共交通のルートとして、京王線の飛田給駅と西武線の多磨駅の2ルートが考えられています。府中市内の多磨駅については、改札を含め駅舎の改良や、会場までの安全な道路整備が欠かせないと、東京都に対応を求めてまいりました。また同時期に大型商業施設が整備されることもあって、府中にとって、2大会のレガシーとして非常に重要な取り組みになるのではないかと私は考えています。

高野市長

2大会やその後を考えると多磨駅の改良は早急に行う必要があると考えていました。先日、西武鉄道と府中市が協定を結んで、駅舎を安全第一に改良するとともに、バリアフリーの自由通路を整備して駅の東西の交流がしやすくなるようにしました。この協議には、東京都にも入っていただいて進めています。それと多磨駅の東側には広場が整備されていますが、西側の府中市で整備する都市計画道路は整備途中です。この道路は小山都議のご協力をさらにいただいて、東八道路までつなぎ、多磨駅の西側につないでいきたいと思います。

さきほど小山都議が話されていました多磨駅東側に予定されています約4万平米の商業施設は、イトヨーク堂が計画中です。これは単なる商業施設の整備ではなく、ひとつの「まち」がつくられる事になると思います。物販や飲食だけではなく、子どもや大人が遊ぶ空間がつくられ、武蔵野の森公園との連携も考えられます。「緑」と「憩い」と「賑わい」のゾーンになると思いますので、この件についても、具体的に要望させていただきたいと思います。

小山都議

高野市長がおっしゃられた通り、多磨駅東側の商業施設整備は、コミュニティスペースとしての位置づけがされ、様々な展開が図られていくのではないかと思います。南側の東京外国语大学と、東側の都立武蔵野の森公園が連携する、オンラインの商業施設になるようにしたいと聞いていますので、府中における新たな「まち」・コミュニティスペースになるよう取り組んでいきたいと思います。

加えて一昨年、優先整備路線となりました府中3・4・12号線(新人見街道)や周辺の道路整備など、地域の安全の確保も極めて重要になってくると考えています。安全性の確保という観点から、商業施設の整備にあわせて道路整備もしっかりと進めていきたいと思います。

府中市東部地域に大型商業施設誘致と都市計画道路の整備を推進

小山くにひこ都議は、府中市や府中市議会の皆様と連携して、西武多摩川線の多磨駅東にあります東京外国语大学北側の国有地に、イトヨーク堂の大型商業施設を誘致することができました。整備される大型商業施設については、武蔵小杉駅前にあるグランツリー武蔵小杉と同様の複合型施設が予定されています。

この大型商業施設の整備に加え、2019年のラグビーワールドカップや2020年の東京オリンピック・パラリンピックの会場として、東京スタジアムや武蔵野の森総合スポーツプラザが使われることから、近隣道路の渋滞対策や歩行者の安全確保を図るために、新人見街道となる都市計画道路府中3・4・12号線を東京都の第四次事業化計画において、優先整備路線として整備されることを実現しました。また、西武多摩川線の多磨駅の駅舎を含めた駅の改良を強く求めました。

引き続き、小山都議は、府中市内をはじめ東京全体の商工業の振興や地域の活性化と安全なまちづくりに全力を尽くしてまいります。



▲グランツリー武蔵小杉

小山都議

いよいよ本年7月に府中駅南口再開発第一地区がオープンします。府中駅南口の第一、第二、第三の再開発がすべて完了し、今後の府中市の発展には、再開発された3地区をはじめ府中の中心市街地をどう振興し、活性化していくかが重要になってくると思います。

高野市長

都市計画決定されてから3つの地区の再開発事業に約35年間かかりました。ここで事業としては完了になります。しかし事業完了が目的ではなく、ここからがスタートです。府中の魅力を引き出し、多くの人々に訪れていただいて府中を発展させることが目的であり目標ですから、この目標にむけて力を尽くしていきたいと思います。それぞれのお店が個性を光らせつつも、第一、第二、第三の地区が連携し、全体としての魅力発信をしていくことが大事だと思います。3つの地区が連携し、府中の中心市街地を発展させるために「一般社団法人まちづくり府中」が発足しました。3地区をはじめとした中心市街地の商業施設、けやき並木や大國魂神社、国府跡や市役所、市民活動センターなど、歴史や文化を伝える施設、公共施設が連携し、府中の魅力を発信し、発展できるようにしたいと考えています。

小山都議

府中の中心市街地には、府中駅と府中本町駅の2駅があって、その2駅の間に市役所や大國魂神社とけやき並木、けやき並木をはさんで東側の府中駅南口再開発地区、西側の商業地域、府中駅の北側とこれら一帯の中心市街地をどう魅力あるものにしていくかというのは、府中にとって極めて大事だと思います。まさに今、スタートラインに立ったのだと思いますので、私も都政の場からしっかり支援していきたいと思います。

小山くにひこ都議会議員と高野のりお府中市長

小山
都議

もうひとつは長年、高野市長が取り組まれています分倍河原駅の改良についてです。これは多くの府中市民や利用者の必要に迫られている案件だと思います。分倍河原駅の改良についても、東京都に対して、しっかり支援するよう求めています。

高野
市長

分倍河原駅は、府中駅に匹敵する乗降客があり、かつ周辺にお住まいの方も増えています。大きな企業も立地していることから、今後まだ乗降客が増えていくと思っています。しかしながら駅舎やホーム、関連施設の老朽化が著しく、どうしても改良しなくてはならないと思い着手しました。

これまでJRと京王の二つの鉄道事業者、東京都、国に理解と協力を求めてきました。小山都議の働きかけや、ご相談にもうつていただき、都の協力も得て、鉄道事業者と協議する場ができました。府中市民の皆さんにも何度か説明をし情報の共有を図っています。今後どのような改良ができるか、どのような計画になるのかが、一番大きな課題なのですが、これは東京都の支援なくして絶対にできないことです。今後も、小山都議にお願いすることがたくさんてくると思います。

小山
都議

よくわかりました。分倍河原駅を改良して、市民の皆さんのが安全に利用でき、また周辺地域の発展にもつながるような駅の改良になれば一番だと思います。

高野
市長

ホームドアの設置というご要望を市民の皆さんからたくさんいただくのですが、今のホームでは、ホームドアを設置することは難しい状況にあります。鉄道事業者のご理解を得ることは必要ですが、そもそも鉄道事業者の皆さんもきっと同じように感じられているのだと思います。

小山
都議

市民や都民の安全を守り、要望の多い分倍河原駅の改良は、府中市や東京都としても取り組まなければならない重要な課題です。鉄道事業者をはじめ複数の関係者がいる中で進めていくのは、大変なご苦労があると思いますが、私も高野市長としっかり連携して取り組んでいきたいと思います。

分倍河原駅ということで申し上げれば、私は都議会で南武線の利便性向上と羽田アクセス線について提案させていただいています。南武線の利便性向上は、府中市はもちろんですが、三多摩全体の発展、振興につながると考えています。高野市長は分倍河原駅の改良と合わせて南武線の沿線市との連携にも取り組まれています。

高野
市長

南武線の沿線市の市長で会合を持ったこともありますし、東京都内の沿線市である稻城市、国立市、立川市と府中市、この四市の市長で組織を立ち上げようとしています。これはJRの八王子支社と東京都との連携を、南武線を軸として進めていくというものです。いずれは南武線沿線の約半分を占めている川崎市との連携も図っていきたいと考えています。

小山
都議

南武線の乗降客数は明らかに増えています、武蔵小杉駅、武蔵溝ノ口駅、川崎駅も改良されました。南武線の位置づけが大きく変わってきており、それぞれの駅と駅周辺が開発されてきていることが、大きな要因だと思います。立川から川崎までの大動脈となっている南武線をいかに活かしていくかが、府中市をはじめ沿線市や多摩地域全体の発展につながっていくと私は考えています。都議会においては、その先を見据えて南武線を羽田空港へとつなぐ羽田アクセス線を提案させていただいています。今後も南武線の利便性向上に全力を尽くしたいと思います。

南武線の利便性向上と羽田空港への直結(アクセス)を提案

小山くにひこ都議が、都議会で、これまで求めてまいりました南武線の利便性向上に関して、2015年春に快速線の運転区間が拡大し、土日休日の増発が実現しました。加えて南武線の羽田空港への直結を提案し、東京都の取り組みを強く求めました。

小山都議の提案は、南武線の33.8km、南武支線の3.6km、東海道貨物支線の4.7km新たに4.1kmを整備することで、南武線を羽田空港に直結し、立川から羽田空港までを39分で結ぶという提案です。

もちろん、八丁畷から尻手間の約1kmの区間を単線から複線にすること、そしてもう一つは、国が新たに整備しようとしている川崎から羽田空港間の橋を鉄道、道路併用橋とする必要があります。しかし、南武線の羽田空港への直結は、府中市をはじめ多摩地域全体の振興や住民の利便性向上につながる極めて有効な整備であるとして、強く求めました。

引き続き、小山都議は、南武線の利便性向上と羽田空港への直結(アクセス)の実現にむけて全力を尽くしてまいります。



『府中市政・東京都政の未来について』対談

小山
都議

私は府中市議会議員最後の議会質問で、府中の「ひとづくり」と「まちづくり」の質問をさせていただきました。府中の「まちづくり」では府中駅と府中本町駅との空間的距離を縮め、いかに接合させるかという、面的な中心市街地活性を含めた提案をさせていただきました。「ひとづくり」については、国家百年の大計となる府中の教育について提案させていただきました。「くにづくり」も「まちづくり」も、すべては「ひとづくり」からです。「ひとづくり」すなわち教育や子育て支援にしっかりと取り組んでおくことが、府中や東京の未来をつくることになると申し上げてまいりました。府中や東京の未来をつくるために「ひとづくり」、すなわち教育や子育て支援に取り組むことが極めて重要だと考えます。

高野
市長

まず子育て支援ですが、東京都や府中市にとっても大きな課題である待機児童の問題があります。保育事業は区市町村の事業なので、府中市としても保育所整備は進めているのですが、その数を上回る入所希望があります。是非、東京都として、新しい子育て支援のあり方を検討してもらいたいと思っています。東京都として労働環境の新しい提案や企業に保育機能を持たせる支援などを期待したいと思います。また現行の育児休業制度は、ほとんどが1年間、もしくは1年半程度で雇用保険の給付が終わってしまいますので、その後の給付を東京都として独自に行っていただくなど、新たな取り組みも考えてもらいたいと思います。

小山
都議

貴重なご意見、ありがとうございます。労働環境への働きかけは本当に大事だと思います。今後の保育需要や将来を見越して考えれば、保育所整備はもちろんですが、その他の多様な保育のあり方も含め、取り組まなければならないと思います。働くことと子育てすることの両立ができる環境づくりに、私も全力で取り組んでまいります。

高野
市長

次に教育ですが、府中の公立学校ではコミュニティスクールを積極的に進めています。学校の先生だけではなくて、子どもが親以外の人に大事にされたり、時にはしかられたり、そういう経験を積むことが大切だと思います。学校と地域の連携、さらには学校と家庭の連携、そして小学校と中学校の連携などの様々な連携が、教育現場の多くの課題を解決し、府中の子どものすこやかな成長につながっていると考えています。

小山
都議

教職員の皆さんも大変な努力をされていますが、教育現場だけで解決されない課題がたくさんでてきているのも現実です。コミュニティスクールをはじめ地域の力で子ども達に向かっていく、地域がどれだけ課題にかかわるかによって大きく教育現場も変わってきます。府中の子どもたちは府中にとての宝ですし、その宝である子どもたちの潜在的な可能性を花開かせる教育が実践されることを、心から望んでいます。また、高野市長の英断で、教育現場の教職員とりわけ副校長の多忙状況に対して、事務職を配置していただいたことは、今日の教育現場において極めて重要だと思っています。学校の先生方が多忙で様々な対応に苦慮しているという現実もあり、都議会でも東京都の取り組みを求めてまいりました。府中市の取り組みを、東京都としてしっかりと支援し、こうした取り組みが都内全域に広がるよう、引き続き求めていきたいと思っております。

高野
市長

私が市長になってから5年が経過していますが、この間、本当に私の様々な相談にのっていただき、要望に迅速にお応えをいただきました。心より感謝しています。基礎自治体の府中市だけではなかなかできないことが多いのも現実です。都市基盤の整備をはじめ、様々な市民生活のソフト面を支えるには、東京都の支援が必要です。東京都に対し、具体的な要望や連携をするためには小山都議の存在が欠かせません。是非、引き続き府中市と東京都のパイプ役として、ご協力をお願いしたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。

小山
都議

ありがとうございます。これまで2期8年間、府中市から都議会へ送っていましたが、高野市長や歴代市長とも連携をさせていただく中で、府中市の発展はもちろんですが、東京全体の発展振興や都政の諸課題に取り組んでまいりました。引き続き、府中市や東京都の発展に全力を尽くしてまいります。

